

園路沿いで見かける赤い実・黒い実の写真と簡単な説明がのっています。地図に書かれた番号の写真を確認しながら、初冬の赤い実・黒い実をお楽しみください。自然生態園にもお立ち寄りください。



⑬アケビ (木通・通草)

実：長さ5-10cm、直径3~4cmの楕円形
紫色に熟し裂開する。果肉は白
花：4~5月に先端を雄花、基部に雌花
鳥：メジロが頭を突っ込んで食べる



⑭トサミズキ (土佐水木)

実：緑色の実が黒色に熟してぶら下がる
花：3-4月頃に葉が出る前に淡黄色の
花がたくさんぶら下がる
鳥：花は人気があるが実は人気がない



⑮サンシュユ (山茱萸)

実：長さ1-2cmほどの楕円形の実
が鈴なり。秋珊瑚と呼ばれる
花：3-4月ころ淡黄色の花が見事
鳥：ヒヨドリ、ムクドリ、オナガは食べる



⑯センダン (栴檀)

実：15-20mmの楕円形。
緑色の実は冬になると黄白色に熟す
花：5-6月頃に淡紫色の小さな花がびっしり
鳥：完熟すると、ヒヨドリ、キジバト、
ムクドリが群らがる



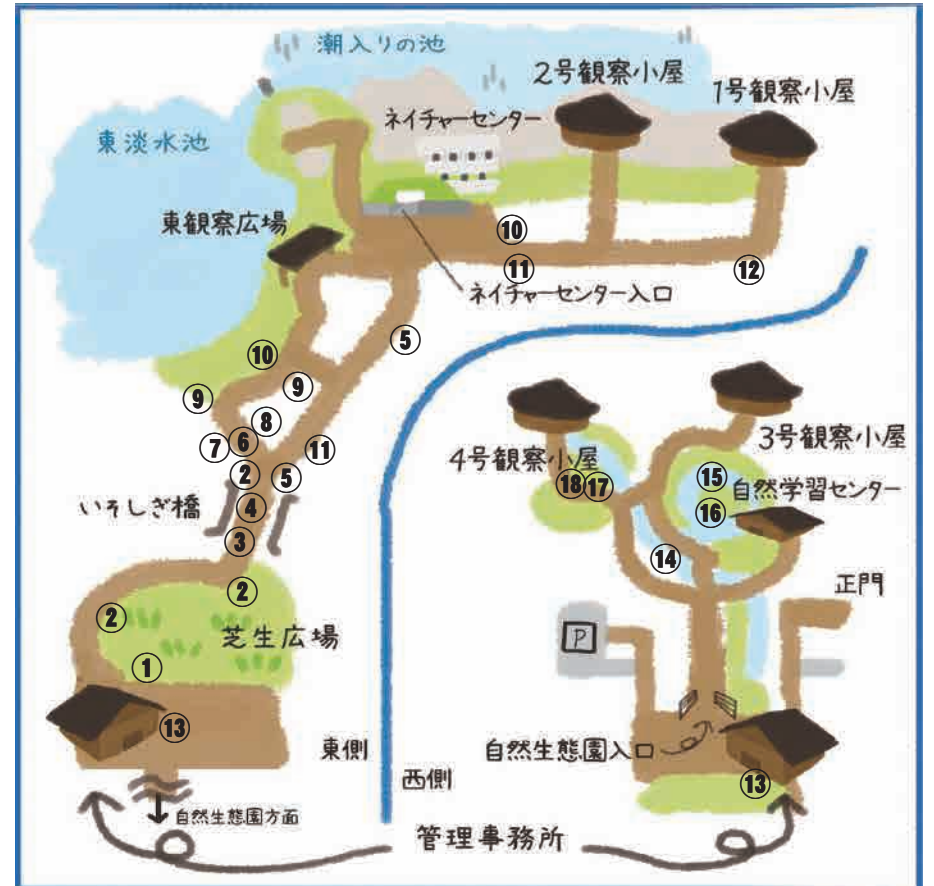
⑰ノブドウ (野葡萄)

実：白、青、紫など宝石のような実
花：7-8月頃に緑色の小さな花を
多数つける
鳥：ヒヨドリやカワラヒワなどが時々食べる



⑱ノイバラ (野薔薇)

実：直径6-9mmほどの卵型。
完熟すると甘くていい香り
花：5-6月に甘く香る白い花
鳥：色々な鳥の冬の栄養源



【東京港野鳥公園ホームページ https://www.tptc.co.jp/park/03_08】
【東京港野鳥公園ボランティアガイドブログ <http://tokyokovg.seesaa.net/>】で
今観察できる野鳥、昆虫、植物の最新情報をいち早くお届けしています。ぜひご覧ください。

<参考文献> 樹に咲く花(山と溪谷社)、野鳥と木の実ハンドブック(文一総合出版)、
身近な草木の実とタネハンドブック(文一総合出版)
発行・監修：東京港野鳥公園グループ 制作：東京港野鳥公園ボランティアガイド 2024.4 改訂 (無断複製・転写禁止)



①ニシキギ (錦木)

実：赤いタネの上にワイン色のベレー帽
花：5-6月に地味な黄緑色の小さな花
鳥：オイルを豊富に含み高カロリーで多くの種類のご馳走



②ナンテン (南天)

実：直径6-7mmの球形の実が垂れ下がる
花：5-6月に小さい白い花を多数つける。
黄色いおしべを広げる
鳥：弱い毒があるためすこしずつ食べる。
主にヒヨドリが好む



⑦コマユミ (小真弓)

実：ぷっくり角張った淡い紅色の実が
割れ朱赤のイヤリングをぶら下げる
花：5-6月に地味な黄白色の小さな花
鳥：オイルを豊富に含み多くの鳥のご馳走



⑧シロダモ (白楠)

実：長さ12-15mmの楕円形で昨年の
黄色い花が今年の秋に赤く熟す
花：10-11月に黄褐色の小さな花が集まる
鳥：12月頃になるとムクドリが食べ始める



③トベラ (扉)

実：直径1-1.5cmの球形。熟すと
裂けて中に粘り気の強い赤い種子
花：4-6月に小さい白い花を多数つける。
鳥：赤い種子をヒヨドリが食べる



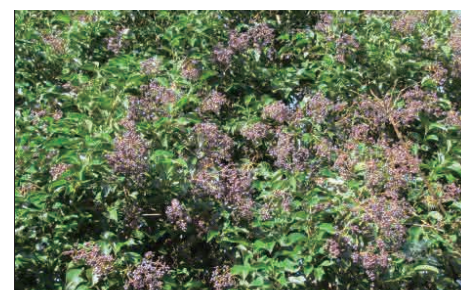
④シャリンバイ (車輪梅)

実：直径1-1.5cmの黒紫色の球形の実。
表面は白い粉をふく
花：5月頃梅に似た白い花を多数つけ
甘く香る
鳥：実が大型で鳥が丸呑みできる限界サイズ



⑨クロガネモチ (黒鉄鶏)

実：直径3mmほどの球形。
花：6月頃白色または淡紫色の花
(雌雄別株)
鳥：12月頃から色々な鳥が食べる



⑩トウネズミモチ (唐鼠藕)

実：長さ8-10mmほどの楕円形の黒紫
色の実。成熟すると白い粉をかぶる
花：6-7月頃白い小さな花を多数つける
鳥：ほぼヒヨドリが独り占め



⑤カクレミノ (隠れ蓑)

実：長さ約1cmの広楕円形で紫黒色の実
が集まる
花：7-8月頃淡黄緑色の花を多くつける
鳥：ヒヨドリが好んで食べる



⑥ハゼノキ (黄櫨)

実：直径9-13mmの扁球形で淡褐色の実
が垂れ下がる
花：5-6月頃黄緑色の
小さな花を多くつける
鳥：メジロ、カラ類、ツグミ類など色々な鳥



⑪イイギリ (飯桐)

実：直径8mmほどの赤い実が
ブドウのような房に垂れる
花：4-5月に香りのいい花を多数つける
鳥：1月後半くらいから主に
ヒヨドリが食べる



⑫コムラサキシキブ (小紫式部)

実：直径3mmほどの球形。
淡紫色が珍しい
花：6-8月に薄紫色の花
鳥：小柄な鳥の口にも入りやすい大きさ
でメジロ、ジョウビタキなども食べる